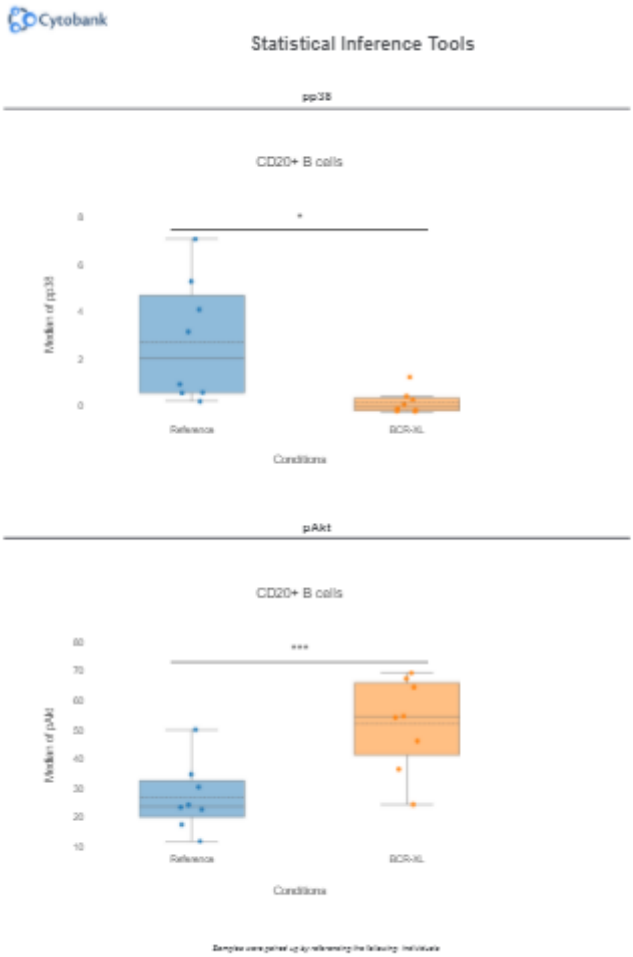
Cytobank v9.1 リリースノート

日本語版：2021 年 1 2 月 28 日

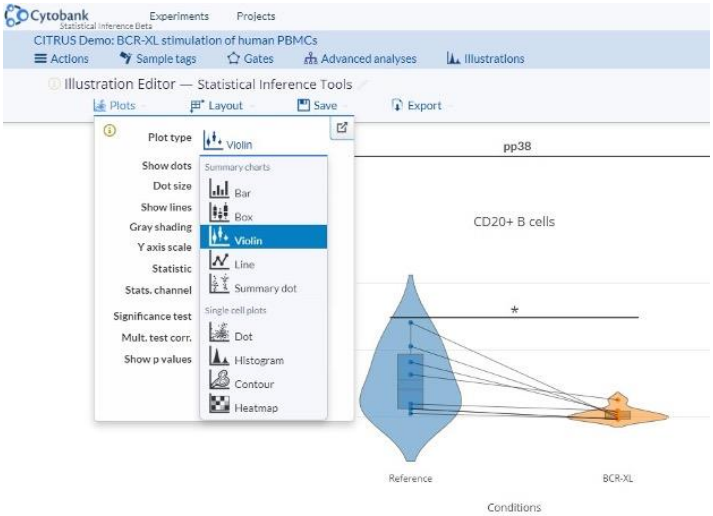
統計的推定機能（Statistical inference tools）の実装

データから得られた解析結果をより端的に表現できる様々な統計機能が、Cytobank プラットフォーム上の illustrations で使えるようになりました。統計値を csv ファイルとしてエクスポートして、別のソフトウエアへインポートし、チャートやグラフを作成する手間から開放されます。Sample tags 機能でデータファイルにサンプル情報や実験変数を自在にアノテーションし、シングルセルレベルから得られた情報を統計的に処理することが可能です。結果を視覚的に表示する様々なプロットも summary chart として追加されました。



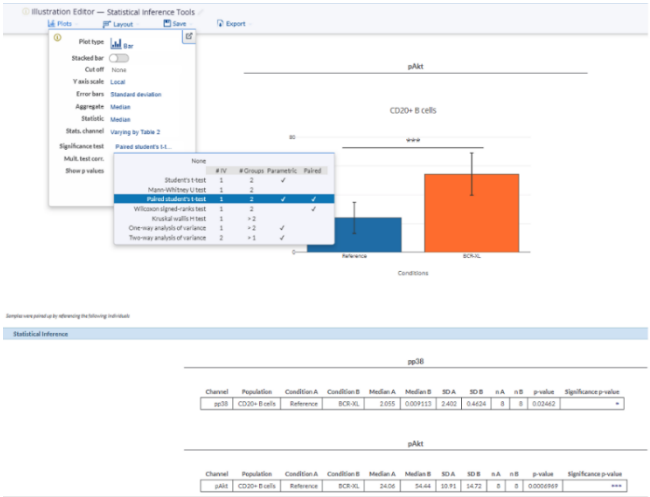
これまでのプロットだけでなく統計サマリーチャートも

Cytobank の illustrator 機能に今回追加されたサマリーチャートでは、Sample tags 機能等で定めたサンプルファイルのグループ間の統計を色々なグラフで表示できます。これまでにも実装されていたヒートマップに加え、バーチャート、ボックスチャート、バイオリンチャート、ラインチャートとサマリードットプロットがサマリーチャートとして追加されました。これまでデータセットのサンプルグループ間の統計結果を他のソフトウエアでグラフ化していたのなら、これからは統計結果をエクスポートする手間なく Cytobank 上でグラフ化までできます。ゲーティング位置の修正などの変更は自動的にサマリーチャートに反映されます。



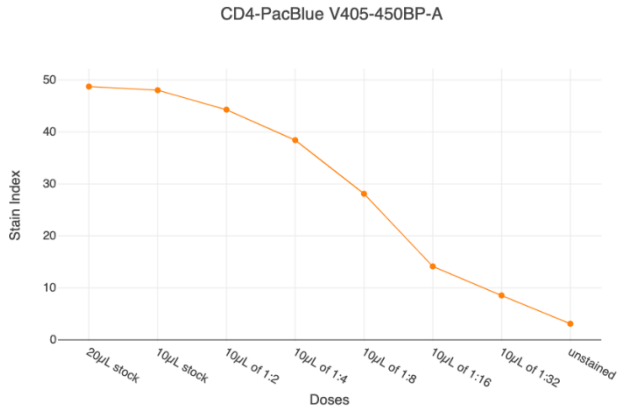
有意差の統計検定も illustration 機能で

データをエクスポートして他のソフトウエアで計算しなくても、Cytobank の illustration 機能で有意差検定ができるようになりました。対応のある/ないはもちろん、パラメトリック/ノンパラメトリックなデータセットやグループの数、独立変数に応じた様々な検定がサマリーチャートに実装され、多重検定補正も可能です。p 値算出やそのシンボル（＊）表示もクリックするだけで完了します。



抗体タイトレーションでのステインインデックスグラフ

フローサイトメトリーの実験を行う上で、抗体濃度のタイトレーションによる最適化はデータのクオリティ上非常に重要です。サマリーチャート機能でのステインインデックスグラフ表示は、データをエクスポートしたりCytobank 外で操作したりする手間を減らし、ステインインデックスと蛍光強度変化を Cytobank 上で直接把握することができます。色素や抗体とその用量などを sample tags でアノテーションして、ポジティブとネガティブのポピュレーションをゲーティングし、illustration 機能でグラフ化するだけです。



新コンテンツが更新されています

アプリケーションノートやポスター、インフォグラフィックス、カスタマーボイス、ウェビナービデオなどお役に立てる様々な情報を更新しています。

ご不明なことなどがございましたら、下記までご連絡ください。
cytobank_support@beckman.com

0120-566-730 または 03-6745-4704
電話受付時間 9:00～17:30 （土・日・祝日・その他休業日を除く）